

◆ またしても一三日発行（になりそう）——今のところ（である、もう言いわけもしないヨ。ハイ、毎度のこと。

◆ よみきり連載小説は、今月はお休み、来月号に期待して下さい。作者・日野善太郎さんに感想やほげましのお便りを送とう!!

◆ 「雑草」という草はなしのなかの写真（四四、四五ページ）は、裸の会と裸詩歌句集より転載しました。

フフきは来月号にのせる予定だが、感想をきかせて下さい。「労働者の歴史」とともに、オレたち自身の歴史、祖先の歴史を知るための作業と

してフフけていきたいので。◆ 読者のつどいは、今月も都合がつかないので休みます。十一月になればやれると思いますので。

◆ 来月号の予告は三四ページにしたが投稿を期待する。

詩 地下足袋の人達

秋月 節（下）

道路に働く人達よ
赤茶けた皮膚の人達よ

地下足袋の底が破れている

底が破れていようと

五体は何時でも同じように動

いている

ちからは黙々と道路に揺られ

れている

自動車は通り抜ける

そのたびに身体を退けて甲を
送る

大地の静脈が

地下足袋の人で浄化されて行く

しわの寄った赤ら顔の中から

美しい微笑が投げこまれる

地下足袋の人達よ

（註）これは表紙のない古雑誌のきれっぱしから発見したもので、作者は「滋賀県職労資支部」所属としてあるから、奥村ナとめのお役人だろう。少なくとも十年以上前の雑誌なので、今はエライサンにはっている人かも知れない。ものたりぬといえばそれまでだが、セピロから地下足袋への、一つの良心的なあいさつ、と読みたい——下。）

うら表紙のマンガは バロン吉元『殴り屋』トッポコミック掲載

今までに出た号のうち残っているものを紹介すると――

9月号 小特集・めし
めしと小説 / オレの好きなめし屋地図 / 軍隊に於ける「めし」考 / めし屋人気投票等 ほか
(第10号) 本文52ページ
・労務者の歴史明治土方編番外「百冊時文部と土工」・よみきり小説「特とまもしと土工たち」・金網はずれて嘆く西成者 他

8月号 小特集・道徳倫本州道同誌
敗北的自殺でなく死を賭けた生き様として / 写真×論文 他
(第9号) 本文44ページ
・よみきり小説「竹やんの酒」日野善太郎・ニュース寸評×生コンと失業保険と・釜ヶ崎手帖ひいいたち ほか
(別冊ふろく) ホーおじさんの死

7月号 小特集・『土工玉吉』の感徳とその後のタコ部屋—— 西成
・ニュース醒虎伝(すいこでん)—— 徳兵衛の暴動から動物園に
・とせいでんごんばん×みる/うつ / くう・読者之声・読者のつどい案内状・編集後記
(第8号) 本文24ページ (※ この号は「特集」をくみませんでした。)

上記バックナンバーほしい人、また、次のページの「取扱所一覧」地図にのっているところでも買えない人で定期購読(半年100円、一年200円、共に送料含む)したい人は、年令・職業・読みたい理由を書き添えて、現金書留か郵便振替で送金して下さい。少々時間がかかりますが、必ず送りますから。

雑役係 トウ

★**労務者渡世**・**十月号**(通巻第一一号)
一九七五年一〇月八日(毎月八日)発行
編集発行 〇〇労務者渡世社編集委員会 (代表・中原晋也)
連絡先 (郵便番号五五七一九一)
西成郵便局私書箱第三一三号
郵便振替口座・大阪二七七八三五

定価一〇〇円(送料五五円)

